

ひろしま男子駅伝 広島チーム中高生代表候補選手強化合宿

第1回【平成25年4月13日（土）・14日（日） 会場：世羅】

天皇盃 第19回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会に向け、中高生候補選手を対象に強化合宿を実施した。

候補選手については、平成25年3月31日現在の中学3000mランキング上位10名、高校5000mランキング上位4名を選出。

13日（土）の15時、広島県代表チーム 岩本真弥監督（世羅高教諭）の「男子駅伝に向け、年間を通じ合宿を実施し意識を高めていきたい。『チーム広島』を常に意識し、一緒にやっけて行こう!」という声で開講した強化合宿は、世羅高校周辺にあるクロスカントリーコースや同校グラウンドでのインターバル練習など、代表候補集団らしい質の高い内容であった。閉講式では、坂口 泰コーチ（中国電力監督）が「君たちは今後さらに発展していく中高生です。『ただ走ってればよい』というのではなく、常日頃の挨拶や感謝の心を持ち、日々の学校生活を全うすることで、豊かな人間性を作ることができる。またそれが、競技力向上につながることを念頭に置き、自分を磨いてほしい。」という言葉で締め、第1回目の強化合宿全日程を終了した。また、大瀬戸 積コーチ（高美が丘中教諭）からの連絡事項では、「今後実施される大会や記録会の結果において代表候補選手の入れ替えを行う。今回選出されたからといって、次回招集されるとは限らない。それぞれ更なる向上を目指して、各学校での日々の練習に励んでもらいたい。」と、今後実施される強化合宿の方向性が示された。



左から大瀬戸コーチ、岩本監督、坂口コーチ、肥田マネージャー



選抜メンバーで練習中



監督、コーチの指導のもと練習中



閉講式で坂口コーチの話を聞く選手たち